



萩市須佐地域

公民館だより

令和5年

8月

第601号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

楽おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

「きれいな花を咲かせてね！」

放課後子ども教室：花植え体験



須佐公民館前

今月の話題

- 子ども達とつくる花だん・・・・・・・・・・ 2 P
- 初めての「ポッチャ大会」・・・・・・・・・・ 3 P
- 地域トピックス
 - ・須佐中2年生が職場体験！・・・・・・・・・・ 6 P
 - ・ソフトバレーボールに魅了
「ふれあい教室」として開催・・・・・・・・ 7 P
- もうすぐ夏休み！
 - ネット、水難事故に気を付けよう・・・・・・・・ 10 P

8月の花

「サルビア」



平成30年6月の
生涯学習発表会から

～花ことば～

「知恵」「尊敬」「家族愛」「良い家庭」です。もともと「賢人」という意味をもつ、「sage」の英名からついたと言われていています。

花いっぱいのもちい… 子ども達とつくるプランター園



須佐放課後子ども教室

毎年6月は、花の苗の植え替え時期です。須佐公民館を拠点として毎週水曜日（平日）の放課後に活動している須佐放課後子ども教室では、須佐文化センター前の庭のスペースにプランターを置いて、季節ごとに花を植え替えています。

今年は花壇をモデルチェンジ！

- ①花を植える2週間前までに、プランターの花を抜く。
- ②花を抜いたプランターの土を大きなシートへ移し、肥料などを入れ、苗の土づくりをする。
- ③花を植える数日前に、土をプランターへ移す。
- ④花の苗を植える当日には、子ども達が来るまでに、ポットのままプランターに配置し、子ども達と一緒に植える。

と、こんなスケジュールを組んで花の植え替えを行います。子ども達も、花や草を抜く作業と

花を植えて、水やり、花ガラ摘みなどを行いますが、スタッフは力作業があるので大変です。

スタッフの年齢層は、70代、80代と高齢の方が多く、なかなか人材がいらないのと、それぞれが個性を活かして教室が成り立っています。

しかし、中には「もう歳だし…若い人に替わってもらわんと…」と最近よく言う

ておられますが、なかなかすぐに返事ができない状況です。



大人と一緒に楽しく花植え

そんな中、今年も花の植え替え時期が迫ってきている中で、「全体的にプランターを前に出して密集させたら、きれいに見えるのでは…」という意見から、6月1日（木）、定例のミーティングの後、プランター

の配置換え作業を行いました。

その前の週には、子ども達に花を抜いてもらい、草を取って土を少し慣らししました。プランターを動かすには、中の土をとって少し軽くしないと重くて動きません。まずは、土の多いところをスコップで掬い取り、土が少なくなったところでプランターを動かしていきました。

炎天下の中での土いじりは、本当に大変です。40・50代でもなかなかきついなと思います。しかし、いざとなると熟年者のパワーはものすごく、一緒にプランターを運んだり、「いいからいいから、これやってあげる」と積極的に働く姿は、見習わないといけないなあと思いました。

やっとの思いでプランターの移動作業を終了し、その後、土や肥料を入れて混ぜ、土づくりをしました。

花づくり体験で子ども達が
やさしい心を育むように…

毎週水曜日は、放課後子ども教室の日。6月21日（水）苗植えの日、天候は曇り。子ども達が来る1時間前にスタッフが集合し、花の苗を配置図のようにポットに入っているままで設置しました。そして午後3時、学校が終わった子ども達が須佐公民

館へやってきました。

「花を植えるよ」と声を掛けるプランターのある側へ全員集まり、いつものように苗の植え方を教えてから、みんなで植えていきました。初めの頃は、何度教えても早く済ませようとしてか、後からチェックしてみると、中には浮いたような感じになっていたりものもあり、大人スタッフで植え替えをしていましたが、それもだんだん上手に植えられるようになりました。

植えた後は水やり。今年から教室へ来ている1年生も、自らジョウロを持って水やりをしていました。皆さん、文化センター前を通られるときは、是非、気にかけてご覧ください。



どんな花が咲くか楽しみ…

初めてのポッチャ大会盛り上がる！



7月16日(日)、須佐文化センターで「ポッチャ大会」が開催され、8チーム24名が参加しました。

ポッチャは、パラリンピックの競技種目にもなっており、障がい者も健常者と一緒にできるスポーツで、ジャックボールと言われる白のボールを先に投げ、赤、青、どちらのボールが白のボールにより近づけることができるかが勝負です。もちろん、得点も入ります。

試合は、3人一組のチームをつくり(全部で8チーム)、最初は4チームずつを2コートに分け、それぞれリーグ戦で行い、上位2チームの最高得点同士で決勝戦を、後の2チームで3位を決めます。

最初に、ゲームの進め方を、実際にシミュレーションしながら、須佐スポーツ振興会須佐支部長の藤山勝彦部長が説明しました。

いよいよ本番開始！知っている人も、まったく知らない人も審判の赤・青の指示に従って投げていきました。白のジャックボールに近づくボールが増え始めると、まわりで見ている人からの声援も聞こえ始め、1回戦、

最後の1投になる

と、誰もが身を乗り出して「何点になる？」

と選手みんな、ボールに近づき、審判の見極め

る点数を、自分の目でも確かめながら点数を聞いていました。

また、この日初めてポッチャを体験する人もおられ、

ボールを投げる時、皆さん下から投

げている中で、一人だけ上から投げる人がいて、最初は少し驚きました。それが上手に投げられジャックボールに近づけているので、それはそれですごいなと思いました。一緒に試合をしてもらえる選手からも「おっっ！」と思わず声が出るほどビックリして



にこ塾から出場の中学生たちは、

慎重にボールを投げていると思ったらジャックボールに固まっているボール目ざして、ハイスピードで転がして、当てて散らばせようとするのですが、これがなかなか当たらず、枠より出てしまうなどの珍プレーも見られました。

スポーツ振興会では、このポッチャの教室を毎月第3水曜日の午後7時から、須佐公民館3階で開催して

ますので、ご都合のつく方は、是非いらしてください。毎回最後には個人戦を行い、優勝者にはトロフィーを差し上げて

います。皆さんの参加をお待ちしています。なお、お問い合わせは、須佐公民館

☎02310へ。

【大会結果】

優勝 チームとしはる

掘田美穂・石田奈美子
齊藤元男

準優勝 ピンポンクラブ

野村三枝子・平野 武
山岡良子

3位 にこ塾B

林 和哉・林 彩花
国弘啓子

須佐図書館コーナー

●「須佐中学校の先生がこんな人・こんな時に読んで欲しい本」
展示

※日時 8月1日～31日

●「おはなしの日」

(職員によるエプロンシアター)
あかずきんなど：

※日時 8月8日(火)

10時～10時20分

★新刊 入りました！

『隠居おてたま』

西条奈加 著

還暦を機に隠居暮らしを始めた老舗系問屋・嶋屋元主人、徳兵衛。新たに組紐商いを始めて忙しくも充実した日々を送っている。だが、自分の家族に芽吹いた悶着の種に気付かない…。

『どじょうすくいのおさるです』

平田昌広 作

「どじょうすくいのさるです」
どこかに濁点をつけると、「どじょうすくいのさるです」に！濁点や半濁点をつけたりとつたりして、違う意味のたのしい文章がつけられる絵本



交通事故を防ぐには

弥富さつき学級

6月19日(月)、弥富交流促進センターで第2回目の学級を開催し、30名が参加しました。今回は、萩警察署弥富駐在所長、繁田京祐さんをお招きし、「交通事故防止について」という演題でお話していただきました。はじめに、今年新しく着任されたということで自己紹介をされ、好きな食べ物や趣味についての写真を見せていただきました。また、以前勤務されていた交通機動隊の時の白バイにのった写真も見せていただき、「まあ、かっこええねえ」と思わず本音を言われる方もおられました。会場は、和やかな雰囲気となりました。



豆腐の実験に驚く参加者

自己紹介の後、早速、交通事故防止について学習しました。まずは、山口県内の交通事故発生状況についてです。

交通事故には、「物損事故」と「人身事故」とがあり、昨年の人身

事故件数は2261件で、死者数は31名おられ、そのうち、高齢者の方が21名ということでした。事故防止につながるため、実際に反射材の効果的な活用・体験やヘルメットの着用実験を見せていただきました。

反射材の体験では、反射材を見ると、ものが反射して見ることができ、道具を用意していただき、参加者は、実際にそれを覗いて反射材の効果を実感されたようで、「歩くときには、ちゃんと付けんといけんね」と、しみじみと言われていました。

次に、ヘルメットの着用実験をしていただきました。今年4月から、自転車乗車時のヘルメット着用が「努力義務」に定められました。ヘルメット非着用時の自転車乗車中の事故で亡くなられた方の主な部位は頭部だといふことを聞きし、その後、ヘルメットと豆腐を使った実験も見ていただきました。皆さんヘルメットの着用の大切さを痛感されていました。

その他、DVD鑑賞もあり、盛りだくさんの内容に、「楽しかったね」「またしてね」などの声が聞かれ、とても充実した講座となりました。

これから取り組む防災

暮らしのサポート講座

平成25年7月の豪雨水害から10年目。毎年、この時期になると、あの日のことを思い出します。

それから今日まで、最大級の避難命令が出された地域は、一体いくつあるでしょう…。今年の梅雨時期に入ってから、頻繁に雨による災害があちらこちらで発生しています。

だからこそ、今からでも取り組んでいけるといふことで、今年、3回の定期講座として明治安田生命さんに、「防災講座」について、お話をお聞きしました。

初日は、6月29日(木)に須佐公民館で「避難所」について学びました。避難所を決めるのには、いくつ



指導者の黄加寿江さん
(こうかずえ)

か考えなくてはない条件があるという事です。例えば、雨

がひどく降って、すでに道路に水がたまり、歩いて行くには難しいという時には、避難所よりも在宅避難を考えなければなりません。在宅避難となれば、水や食料など、普段から備蓄品を蓄えておくことも必要です。また、倒れそうな家具などには、転倒防止策、停電には懐中電灯やラントラン、オール電化にはガスコンロも必要です。

7月7日(金)に開催された2回目の講座は、「防災脳のストレッチ」といふことで、いつもアンテナをはって、気象情報や防災知識を認識し、これからやってくる災害のために必要な常備品なども、何が入っているか、時々は見えておきましょう。

2回の講座を終え、参加者は、★ハザードマップを活用したい。

★あの日を思い出し、備えをしておこうと思う。

★準備が大事ですね。

皆さんの声を頂きました。皆さんも、これからのために必要最低限の備えはしておきましょう！



豆腐の実験に驚く参加者

子育て支援日記 テーマ／昔の遊びを伝えよう！

懐かしい子どもの頃の遊び

育英小学校教頭 弘 恵子



私が小学生の頃の遊びといえば、やはり外遊びが中心でした。子どもの数も多かったので、同学年で遊ぶというよりは、今でいう縦割り、いろいろな学年が混ざり、高学年が中心となつて遊んでいました。

探検と称して、山や川にもよく遊びに行っていました。今考えると、子どもだけで勝手にいろいろな場所に行き、結構危険なこともしていたように思います。

学校の運動場にも、今は危険だからと撤去された遊具（回旋塔など）もたくさんありました。今みたいにゲームなどはあまりありませんでしたが、自分たちでいろいろ考えて、自由にのびのび遊ぶことができ、よい時代だったなあと思います。その中で、特に印象に残っている遊びを3つ振り返ってみます。

① ゴム跳び

私が小学生の頃の遊びとして、真っ先に思い出すのは、「ゴム跳び」です。須佐中の山下校長先生も書かれ

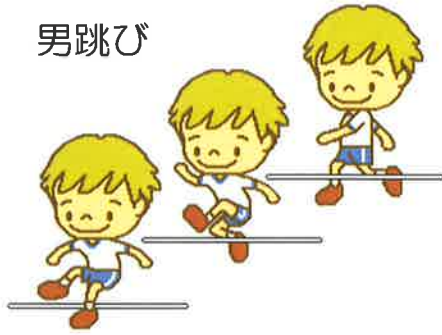
ていましたが、当時の女の子でやったことがない人はいないのではないかというほど、流行りました。

最初の頃は、輪ゴムをつなぎ合わせた1本のゴム飛びをしていました。もちろん、跳べる高さを競うものですが、ま

る跳び、女跳び、男跳びと跳び方の種類もたくさんありました。今はもうはつきり覚えていませんが、ゴムが高くなるとなぜか足ではなく手を使ってクリアするものもありました。

途中からは、輪ゴムではなく平ゴムを使って、二重にしたゴムの跳びというよりは、ゴムに足を引っかけて遊ぶというものが流行りました。高く跳ぶというよりは、足さばきの

男跳び



技術が必要でした。跳び始める前の合図として、「ノータイム」と言ってから跳び始めるというルールがありました。みんな熱中していました。

② 牛乳ビンの蓋（ふた）をひっくり返す遊び

当時の給食の牛

乳はもちろん、家で飲む牛乳も

今のように紙パックで



はなく、ビンでした。また、私が子どもの頃は、牛乳はお店で買うというより、牛乳配達屋さんが届けてくれるものだったように記憶しています。各家庭の玄関前には、牛乳を入れる箱が置いてありました。

子ども達にとつて、牛乳ビンの蓋は、とても手に入りやすかったです。どうして始まったのかは覚えていませんが、高学年の頃には、牛乳ビンの蓋集めが流行り、それを使う遊びが流行りました。

遊び方はとても単純で、1人が1枚牛乳ビンの蓋を出し、相手の蓋をひっくり返せたら、蓋がもらえるといたものでした。雨で外遊びができないときなどによくやっていました。簡単な遊びですが、蓋のふちのそり具合や蓋の厚み等によつて、同じ蓋のようでも違いがあり、とてもおもしろかったです。強い子は、何百枚

も蓋を持っていました。

③ ドッジボールやポトボール

私が子どもの頃は、子ども会も盛んで、年に何回か各地区対抗のドッジボール大会、高学年になるとポトボール大会が開かれていました。

地域の大人もとても熱心で、定期的に近くの公園に集まって練習する機会をつくり、教えてくださいました。

地域の大人が練習に行くだけで褒めてくれ、お菓子までもらえるので、みんな進んで練習に参加していました。そのせいか、学校の休み時間にも、男女混ざつてよくボール遊びをしていました。



今の子ども達も学校では、私達の頃と同じように休み時間にはボール遊びをしたり、鬼ごっこをしたりして過ごしています。雨の日も工夫して、工作をしたり絵を描いたりしています。今の時代、ICTとも上手につきあつていかななくてはいけないと思います。子どものうちにしつかり、自然や人と触れ合つてほしいと思います。そのために、私達大人が、まずそういう環境をつくつていければと思います。

須佐中2年生が

須佐地域内で職場体験!



須佐中学校では、毎年、須佐地域内の職場に向き、「職場体験」を実施しています。

昨年度は、コロナウイルス感染予防のため実施できず、今年も7月10日(月)と11日(火)の2日間を予定していたのですが、悪天候で警報も出ていたため、11日の一日間だけの体験となりました。

今年、須佐公民館への体験に来られたのは、石田葵(いしだあおい)さんです。石田さんは、須佐公民館での職場体験で、何を学んだのでしょうか…。石田さんの体験話と感想を紹介します。

公民館の仕事を体験して…

一日目の職場体験は中止になってしまいましたが、二日目は公民館の仕事を体験することができました。私が公民館を選んだわけは、明るくて楽しそうなところだなあと思ったからです。

最初に、館長さんから公民館のことについて詳しく説明を聞きました。



豪雨水害時の写真を貼る作業

公民館は、子どもから大人まで、みんなが集まって学習するところだということでした。また、どんなことをしているかも詳しく知ることができました。パソコンで打ったり電話をとるだけでなく、展示の準備など、思っていたよりもたくさんさんの仕事をしているということが分かりました。

館長さんの話の後、山口県北部豪雨災害の展示の準備をしました。私は、パネルなどを画びょうで刺す作業をしたけれど、それだけでも手が痛くなって、すごく大変でした。

その他、大きな紙を印刷したりと慣れないことばかりで、公民館の方たちはすごいと思いました。

他の6名の生徒も

違う職場で体験!

今回、時間があれば石田さんに、他の職場で体験している生徒の取材をしてもらおうと考えていたのですが、残念ながらできませんでしたので、他の生徒がどの職場で体験されたのかを写真で紹介いたします。

須佐保育園



手洗いの指導をする石橋瑠叶さん



須佐自動車



工場の制服姿で作業をする伊藤夏空くん

須佐図書館



図書館職員と一緒に仕事をする伊藤陽斗くん

育英小学校



給食の準備を一緒にする大野来幸さん

エコロジーキャンプ場



仕分け作業をしている久原心結くん

中学生・高校生・保護者が

ソフトバレーボールで交流



6月4日(日)に開催されました須佐ソフトバレーボール大会に、大勢の中学生・高校生が参加して、会場の雰囲気盛り上げてくれました。中には兄弟姉妹対決や友達との連携プレーを観戦する保護者達は充実したひと時を過ごすことができた大変好評になりました。

後日、大会に参加した子ども達はソフトバレーボールの楽しさに目覚め、不意に漏れた「練習してー」という一言から、もう一度ソフトバレーの練習をしてみないかと、みんなに呼びかけました。

地域と子ども達のつながりが希薄になっていく昨今「地域と子ども達の交流の架け橋」に出来ないかと、須佐公民館が、にこ塾の林和哉氏に話を持ちかけると、「一つ返事で「やってみる」との回答があり、去る7月12日(水)夕方、須佐文化センターにおいて、須佐公民館とにこ塾の共催で、初めてのスポーツ交流会が開催されました。

第一回の交流会は、前回の大会に出場した中高生と保護者を中心に20名ほどの参加があり、サブ・レシーブやラリーの練習をした後に、試合



スポーツを通じて地域の輪を作ろう

形式で兄弟姉妹対決、親子対決を行い交流の輪を広げました。子ども達も保護者の皆さんも、適度な運動で気持ち良い汗をかき、手探りで始めた交流会にしては、充実した時間となりました。次回は、更に多くの中高生や保護者が参加し、来年度の須佐ソフトバレーボール大会では、交流会の成果を十分に発揮してくれることを祈るばかりです。是非あなたも参加してみませんか。

須佐地区・弥富地区七夕会!

須佐地区

こいつ

7月7日は『七夕』の日。須佐放課後子ども教室では、毎年この時期になると、須佐公民館のロビーに七夕飾りを作って笹に飾っています。今年も、初めて須佐婦人会との交流を計画し、7月5日(水)の放課後、「交流七夕会」を開催しました。総勢約40名という、放課後子ども教室では過去最大の人数がかりな会となりましたが、紙芝居に歌の伴奏など、特技をお持ちの婦人会のおかげで、とっても素敵な七夕会となりました。

た地域住民との交流体験が、年何回かでもできればと感

じました。皆さん是非見に来てください。



最後はみんなで記念撮影!

弥富地区



駐在さんと楽しそうに写る子ども達

一方、弥富地区でも7月5日の放課後子ども教室で、毎年恒例の子ども教室で七夕飾りを作りました。

はじめに、それぞれの願い事を書いた短冊と地域の方に書いてもらった短冊を笹につけ、次に色紙を使って、貝飾りや網かざりを作り、飾り付けをしました。8月上旬まで弥富交流センターに飾ってありますので、是非見に来てください。

また、夏休みということもあり、萩警察署弥富駐在所の繁田所長さんから横断歩道の渡り方について、教えて頂きました。

タムラの

まち歩き



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。先月号までは、須佐の夏祭りを代表する弁天祭とそこに伝わる「船歌」のあれこれを紹介して参りましたが、今回は夏のもう一つの祭り祇園祭と、そこに伝わる「祇園車／山車」についてご紹介致します。

地域総がかりの祇園車(山車)

須佐川にかかる龍斎橋が復旧完成し、立派な姿を見ることが出来ます。今から10年前の山口県北部豪雨災害によって、被害を被ったこの橋は、萩市ご当局をはじめ、多くの関係者のみなみなならぬご尽力によって、見事復旧を致したところです。市民の一人として誠に嬉しく思う次第です。

この新しい橋の麓に立って、東の方向の本町通りを眺めると、真すぐ

な道と街並みが見えます。

この本通りは、約60年前に、旧領主益田氏が街並みを整備したことから始まります。通称石州街道(仏坂道)の一角をなしていたところです。

この道筋では、毎年7月25・26日に松崎八幡宮境内の八坂神社祇園祭に際して、道路沿いのそれぞれの家の軒先に、紅白の垂れ幕が飾られ、松原集落からはじまって、本町上の丁、本町中の丁、そして本町下の丁、更に中津集落に至るまで、集落ごとに組み立てられ、造形された祇園車(山車)が繰り出され、真夏の炎天下の中を集落こぞつて若衆達が、祇園車を引いて町内を引き練り歩き、海の方角に向かって通り抜けて行く、その賑やかな祇園車の姿が見られました。

この祇園車(山車)には、車台の上に、手作りされた紙花や飾り、そして鐘、笛、小太鼓などの囃子に合わせて綺麗に化粧した浴衣着で帯締めの少女達の踊り子姿が見られ華やかな祇園車の繰り出し姿がありました。

こうして、古くから地域に伝わる民俗的文化活動も、時代の流れに伴って、過疎化、少子化などの影響も

あり、祇園車に関わる技術保持者をはじめ、継承のための人材確保が困難となる中で、なんとか伝統の風習の活動を保存継承するために、松原と本町中の丁集落に伝わる祇園車が民俗的な価値があるとして、須佐町時代(現在萩市)に有形民俗文化財に指定されています。

松原祇園車

文化財指定書の記録によると、祇園車の起源は明らかではないが、文政年間(1818~1826)以前に、地域の悪疫退散を祈願するため、八坂神社の氏子たちが、祇園車を造り祭礼に参拝したことが始まりと言われています。松原の祇園車は、町内の祇園車の親車としての役割を持っており、時代の変化に伴い、他の祇園車が解体される中で今なおその様相を保っていることから、昭和53



年6月15日に有形民俗文化財として指定されました。

本町中祇園車



記録によりますと、「天文3年(1534)に領主益田家27代元道が重病にかかり、平癒祈願のために、公儀の許可を得て、6月14・15日の両日神こしの御神幸が行われた。」その後祭日の変更はあったが、市中各丁々から花車山鉾等が寄進され、車舞いや狂言等の盛大な行事となった。その後凶作や飢饉等のおりに途切れた時期もあったが、その都度復活され近年では、終戦後人心沈滞混乱のおり、人心鼓舞のため再度復活し賑わったものの、若者たちの減少により再びすたれ、現在では、松原・本町中祇園車の巡行は休止中である。



旧須佐町中央公民館

文部大臣表彰を機に 地域が動き出す

平成7年11月に、2回目の優良公民館文部大臣表彰後、須佐公民館は絶頂期を迎え、地域内の自治公民館活動も活発化してきました。これと前後するように、須佐地域内の住民の積極的な自治活動に刺激されたのか町議会でも動きがありました。

平成6年図書館の建設や公民館図書室の充実について、議会から要望がありました。

そして、須佐町議員も、先進地視察研修を実施。その中に全国でも話題になっている施設や事業を見学されたとのこと。その中の一つに、全国でもトップクラスの図書の貸し出し数を誇る、福岡県苅田町立図書館の視察がありました。

当然、次の定例議会には、必ずといっていいくらいその話題が一般質問として出されるのが定番となってい

ました。良い図書館を真似することは必要なことはよく分かりますが、これより数年前には町議会が須佐町図書館条例を廃止している事実がありました。実際上須佐町には図書館がないことでの図書館建設議論には、いささか疑問を感じざるを得ないところでした。

一般質問では、「図書館を建設したらどうか」という質問に対して、その回答は教育委員会に求められた。教育長の回答は、「図書館条例を廃止し、今すぐ建設ということにはならないが、図書館の必要性について、現在ある須佐公民館図書室の拡充を図って行きたい」と答弁。その後、教育委員会では、図書室の書籍整備と新たな図書室貸出業務が検討されました。

巡回文庫「まなぼう号」制作

前回の公民館だより6月号で「まな坊」の誕生の折若干触れました。平

成7年地域の生涯学習活動をより推進するため、生涯学習推進マスコット「まな坊」を制作しましたことは、以前お話ししたとおりです。

この「まな坊」を中心とする公民館図書室の充実を行おうというものです。当初、教育長の考えでは巡回箱(50冊)を地域内の自治公民館に廻していくという案でしたが、それでは読みたい本が読めないとの事で、車による巡回文庫車の購入を要求。当時ライトバン購入費150万円くらい予算がついたと思われまます。いつもの事ではあるが、予算がついてから右往左往するのは、



「まなぼう号」のモデルとなった特装備

どうも自分の性分らしい・・・?。とにかく、150万円で車を買うこと、そして、できるだけ多くの図書詰み込まれること、冬も走るので4WDであることが最低条件で、販売店を歩き続けるが、条件に合う車は見当たらない。ライトバン改造は、経費的に、法的に難しい。トラックに幌を掛けるようでは、どこかの魚屋さんみ

たいで・・・。同じ車販売店さんも2度3度訪ねると、少し本気で話を聞いてくれるようになり、最後に訪ねたT販売店のセールの方が、カタログには無い特装车カタログを見せてくれました。その中にガルトップといって3方向にテント地の屋根が開く車両があり、探し求めたものようやく見つかりました。

あとは、どのように内装を整備するかでした。予算がないため、建具さんに頼み書棚を制作。移動中も本が倒れないように傾斜を付けなどの工夫がされました。そして、テント地の側面をどうにか加工できないかと、職員で考えた。子ども達の興味を引き、車が動く事で地域に本と夢が届けられれば最高。後ろの面は、「まな坊」が本を読んでいるイラストに、側面は山と海の地域だけに、山と海が職員の手で描かれました。車積冊数1000冊。

これで、一応予算内で完成することができました。そして、名前は須佐町巡回ふれあい文庫「まなぼう号」と決まりました。6月23日いよいよ、須佐中央公民館前にて、巡回ふれあい文庫「まなぼう号」がスタート。町内の保育園・小学校や中学校、事業所へ本が届けられるようになりました。

須佐地域の安全・安心なまちづくりを応援する！ わがまちの駐在さん



新 衛ちゃん、繁ちゃんが行く！



今年も夏休みが近づいてきました。
夏休みに、家族で気を付けなければならないことは、どんなことですか？
教えてください。



～インターネットの危険性～ (衛藤)

夏休みは、中高生のスマホやタブレットなどの利用時間が増え、心理的依存度も高まる時期です。インターネットには危険がたくさんあります。例えば、

- ネットで知り合った人から裸の画像を要求されたので送信した。(児童ポルノ被害)
→ 一度ネットに流出してしまった画像を、全て削除することは困難！
- ネットで知り合った人に会いに行ったら、家に帰してもらえなかった。(誘拐被害)
→ ネットでのやり取りでは、やさしい人でも実際に会うと・・・
- ネットサーフィンをしていたら、急に「会員登録完了」の表示が出たので、請求されたお金を支払った。(詐欺被害)
→ 支払ったお金が帰って来ることはほとんどない！

スマホやタブレットなどのネット回線を使って被害者・加害者にならないためには、

- ネットの危険性を理解する
- フィルタリングの設定をする
- 使い方のルールを家庭で作る

ことが重要です。利用方法について家族で話し合ってください。



～水難事故防止について～ (繁田)

夏休みに入ると、海水浴、水泳、魚釣りなどにお出かけされる機会も増えてくると思います。一方で、自身の不注意や無謀な行動等により、海や川、プール等での水難事故につながるものがよくあります。水難事故を未然に防ぐために、次のことに気を付けましょう。

【水難事故防止のポイント】

- 自分の体力、技術を過信しないようにしましょう。
- 海水浴場、プールなどでは、ルールを守るようにしましょう。
- 万一来て備えて、浮き輪やライフジャケットなどを用意しましょう。
- 幼児や児童の水遊びは、安全な場所を選び、保護者の方は、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 飲酒後、睡眠不足、疲労時などの体調不良時には、水に入らないようにしましょう。
- ため池、古井戸、工事現場の水たまり等の危険な場所には、管理者等は、柵、立て札、蓋等の安全措置を問きましょう。



【水難が発生した場合】

水に関する自己が発生した場合は、素早い対応が人命救助のカギになります。

緊急通報 110番(警察)、118番(海上保安庁)、119番(消防)

のどれでも構いませんので、直ちに通報をお願いします。





秋・冬野菜の栽培は8月から

どの野菜にとっても暑い夏の時期にハクサイ・キャベツなどの育苗が始まります。

育苗のポイントは

- ① 暑さ対策に育苗の場合は、カンレイシャ等を覆い日陰で風通しのよい場所を選ぶ等を工夫する。
- ② 乾燥対策に灌水、発芽までの被覆対策等
- ③ 特に害虫対策に被覆や防除の実行
- ④ 台風などの災害対策



○ハクサイ

- ①まきどき／早生ハクサイの場合、8月中旬～下旬
- ②育苗／育苗培土を使い、ポリポットは3～4粒、セルトレイでは、1穴に 1～2粒まき、までに1本に間引きます。

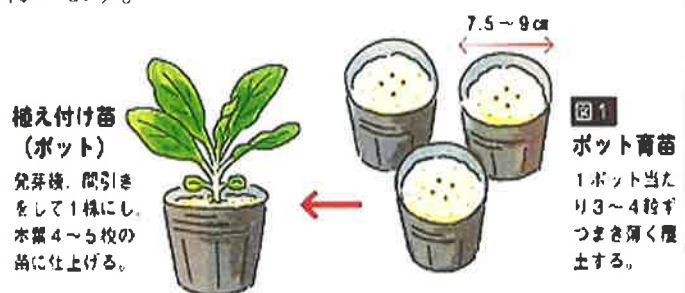
本葉2～3枚までに1本に間引きます。

育苗のポイント

まき床に発芽まで水やり、新聞紙等を覆うなどして乾燥を防ぎます。

強い日差しをさける（よしずを立てかけ等）。

また、防虫用のネット（カンレイシャ等）は是非行います。



○キャベツ

- ① まきどき /遅くても8月中旬までにはまきます。
- ② 育苗／ハクサイと同じように行います。
- ③ 本葉1～2枚の頃1本仕立てとして、本葉5～6枚まで育てます。セル苗では、双葉展開時に間引きをして2～3枚の苗に仕上げます。

○ニンジン

8月に入りタネまきをする場合は、8月上旬には終わるようにします。

第19回萩市美術展作品募集！

ものをつくるということは、生きがいにもなりますし、好きなことを続けるのは、とても楽しいことでもあります。皆さんの手掛けている作品を是非出品してみませんか？

- 展示期間 10月8日(日)～15日(日)
- 出品内容
 - ・平面 日本画、洋画、水彩、版画、デザイン、イラストレーションなど
 - ・立体 彫刻、工芸
 - ・書 屏風、掛け軸(半切以下)
 - ・写真



- 申込〆切 9月20日(水)
- 作品搬入 9月24日(日)、25日(月)
- ※なお、9月19日(火)までに須佐公民館へ持参の方は、公民館から車で運びます。

●お問い合わせ
萩市文化・生涯学習課08387-25-3149

人権教育啓発作品募集！

- 応募資格 地域内に在住、あるいは通勤・通学している者
- 作品内容 人権課題解決への明るい展望を地域住民に呼びかける内容で、自由な発想によるもの

○作品の種類

- ①ポスター 大きさ・材料自由 (できれば4つ切り縦書き)
- ②作文 原稿用紙(小学生3枚以内、中学生・一般5枚以内)
- ③詩 原稿用紙(枚数自由)
- ④習字 条副・半紙

- 締切日：令和5年9月22日(金)
- 提出先：萩市須佐総合事務所 地域振興部門 (☎6-2211)

※出品者全員に参加証を進呈。
入賞者には賞状を進呈します。
～どしどしお寄せください～



お家時間を楽しく過ごすぞう！



今回は「漢字クイズ」です。

【Q、次の①～④には、それぞれ4つの単語が書かれています。おや？それぞれの単語の中にある○は、漢字の書かれていない空白部分があります。○は、①～④それぞれ読みは違っても同じ漢字が入ります。①～④にはそれぞれどんな漢字が隠されているのでしょうか。また、その4つの漢字を使ってできる「4字熟語」は何でしょう？（※答えは、最終ページ）】

①	②
主○・悪○	荒○・原○
○所・○柄	○鳥・○辺
③	④
善○・改○	奉○・○服
○好・○質	○立屋・身○度

四字熟語 = ○ ○ ○ ○

えみいの レッツ、フライ！

お家時間を楽しく パート②⑤

夏が旬のきゅうりですが、お店では年中出回っています。そんなきゅうりですが、実は、「もつともカロリー」の低い果実」としてギネスにも載っているようです。



きゅうりもいろんな食べ方がありますが、今回は、漬け物を紹介したいと思います。

【きゅうりのQちゃん】

■材料

- きゅうり 4本、塩 小さじ 1、しょうゆ 100cc、砂糖 50g、酢 大さじ 2、タカの爪 1/2本、しょうが（スライス） 3〜4枚

■作り方

①きゅうりは洗って、両端を切り落とし、厚さ 8mm から 1cm くらいの輪切りにする。

②輪切りにしたきゅうりに塩を振って手でもみ込む。30分くらい置いて、

水分を出す。

③30分経ったら、きゅうりをしぼる。

④調味料を鍋、またはフライパンに入れ煮詰める。

⑤調味料が煮詰まったら火を止めて、きゅうりを加える。

⑥再度中火〜強火にかけ、フライパンの縁がグツグツ沸いてきたら火を止める。

⑦そのまま粗熱をとる。

⑧粗熱が取れたら、密封袋へ汁ごと入れ冷蔵庫へ入れる。一晩から二晩入れておく。



⑨好みの味の濃いさになったら出来上がり。汁を捨てて密封容器またはビンに入れ、1週間以内に食べきる。

きゅうりのQちゃんのQRコード



★スマホでQRコードを読みとってね

生涯学習作品コーナー

【俳句】

七月を洋々として湾の水

(松原) 澄川千枝

始まった今年も長い夏休み

(田万川) 土井亜紀

梅雨明けの空の夕日のピンク色

(入江) 緒方恵美子

【短歌】

診察日先ずは血圧診てもらい

医師の前では高めになるらし



(8区) 鈴木ミツヨ

黄砂にてかすみで見える遠き山

風静まれば次第に目覚む

(青葉台) 田村雅利

ひとさじのアイスクリーム溶ける間よ

九十二才の誕生日なり

(松原) 澄川千枝

【子ども俳句】

七夕の日たんざくに書いたねがいごと

(中1) 山本ひかる

夏休み花火大会楽しみだ

(小6) 山本千尋



須佐の偉人伝

大塚均

75

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



鞍馬
Pommel Horse



大塚 均 (1911-1998)

第20回国民体育大会

岐阜県大会記念切手

第20回国民体育大会が、10月24日から6日間岐阜市を中心に岐阜県下の各地で展開されたことを記念に郵便切手が発行された。

5円郵便切手を昭和40年10月24日発行する。体操種目鞍馬

大塚均54歳時の作品である。


2023		8月 地域カレンダー		須=須佐公民館	弥=弥富公民館	◎=生き生き教室
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1	2 ◎つどい会 9:30	3 	4 ■のびのび教室 「そうめん流し」 10:00 (久原園地)	5
6 	7 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	8 ■心配ごと相談(保セ)	09 須色えんぴつ画 13:30	10	11 ◎山の日	12 
13	14 ◎弥富地区対抗ソフトノール大会 8:00 ■鈴野川盆踊り大会 ■弥富盆踊り大会	15 ■須佐盆踊り大会 	16 	17 弥子ども会 9:00	18 弥子ども会 9:00 ■映画上映会(文セ) 開場18:00~	19
20 ◎育英小親子作業 家庭の日	21 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	22	23 須色えんぴつ画 9:30 ◎音楽療法 13:30	24 	25 弥ラウンドゴルフを楽しむ 9:30 ◎手芸クラブ 9:30 ◎囲碁・将棋 13:30	26 ◎須佐中親子 ふれあい奉仕作業
27	28 ◎工クラブ 9:30 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	29 ◎生き生き体操 8:45 須パッチサークル 9:30	30	31 		

夏休み映画上映会
『長ぐつをはいたネコと9つの命』

●とき 8月18日(金)
18時20分開場、19時上映


●場所 須佐文化センターホール

ぜひ、見に来てね 

伝言板 

●須佐地区対抗ソフトボール大会
○とき 9月3日(日)
午前8時30分より
○ところ 須佐グラウンド

〆ちよつと一言…〆
『盆踊り』とは…お盆に返ってきた先祖の霊を慰める霊鎮め(たまずめ)の行事です。8月13日から15日のお盆の間は、家族そろって先祖を慰め、楽しいひと時を過ごしましょう!



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「20日」です
★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R5.6月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	955戸	1,728人	(△8人)
弥富	221戸	409人	(△1人)
合計	1,176戸	2,137人	(△9人)
昨年比	世帯数△30人	人数△94人	

四字熟語「野良仕事」
◎12Pのクイズの答え
①事 ②野 ③良 ④仕

編集後記
先日、放課後子ども教室で「防災キャンプ」を行いました。その中で、普段なかなか触れ合うことのない3名の高校生にも寝床作りや夏休みの宿題、防災グッズ作りなどを手伝って頂き、子ども達も積極的に動いたり、宿題も自ら一生懸命取り組むなどの姿勢が見られました。この防災キャンプの詳細は、次号に掲載します。